

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

3. 貧血などの血液の疾患

文献

藤原道久, 河本義之. 婦人科悪性腫瘍の化学療法による骨髄抑制に対する十全大補湯の効果. 産婦人科漢方研究のあゆみ 1998; 15: 86-9.

1. 目的

婦人科癌患者に対する化学療法時の骨髄抑制に対する十全大補湯の併用効果を評価する。

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (cross over) (RCT- cross over)

3. セッティング

川崎医科大学附属川崎病院産婦人科

4. 参加者

川崎医科大学附属川崎病院産婦人科にて婦人科悪性腫瘍の手術を受け、術後化学療法が施行された患者 10 名

5. 介入

Arm 1: 症例番号が奇数の者は、奇数クールに抗癌剤投与前日から十全大補湯 7.5 g 21 日間投与、偶数クールは非投与 5 名

Arm 2: 症例番号が偶数の者は、偶数クールに抗癌剤投与前日から十全大補湯 7.5 g 21 日間投与、奇数クールは非投与 5 名

両群とも化学療法は CBDCA 500mg/m² を腹腔内投与、および CPA 450mg/m² 経静脈投与した。

6. 主なアウトカム評価項目

白血球数、好中球数、赤血球数、ヘモグロビン値、血小板数、G-CSF 使用本数にて比較

7. 主な結果

十全大補湯の投与群および非投与群は各 20 クールであった。

白血球、好中球、赤血球、において減少数は十全大補湯投与群において有意に少なく(それぞれ $P<0.01$, $P<0.05$, $P<0.01$)、G-CSF 使用本数も少なかった ($P<0.05$)。ヘモグロビン値は十全大補湯投与群において有意に高かった ($P<0.05$)。血小板数に関しては有意差を認めなかった。

8. 結論

十全大補湯は癌化学療法時における自他覚的副作用の軽減効果は大きい。

9. 漢方的考察

なし

10. 論文中の安全性評価

記載なし

11. Abstractor のコメント

本論文では、化学療法時の骨髄抑制に対する十全大補湯の予防効果について述べられている。G-CSF の使用本数をほぼ半数に減らす事が出来る事が示された事は意義深いと思われる。

12. Abstractor and date

中田英之 2009.1.1, 2010.1.6, 2010.6.1, 2013.12.31